

## 別紙様式（府中市立国府）小学校・学園

### 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

#### I 調査の概要

##### 1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

##### 2. 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

##### 3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
  - ・主として「知識」に関する問題（A）
  - ・主として「活用」に関する問題（B）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

##### 4. 調査日時

平成30年4月17日（火）

#### II 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

##### 1. 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
広島県	73	59	66	54	63
府中市	75	60	67	54	63
（府中市立国府小学校）	80	66	70	57	67

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2. 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語 A	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。</li> <li>○目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書く。</li> <li>○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。</li> <li>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。</li> </ul>
国語 B	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。</li> <li>○目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書く。</li> <li>○物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。</li> </ul>
算数 A	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、それぞれの数量が数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。</li> <li>○任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。</li> <li>○円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。</li> <li>○二次元表の合計欄に入る数を書く。</li> </ul>
算数 B	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述する。</li> <li>○料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する。</li> <li>○示された式の中の数値の意味を、表と関連させながら解釈し、それを記述する。</li> <li>○身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する。</li> </ul>
理科	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ。</li> <li>○熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を説明する。</li> <li>○インゲンマメとヒマワリの生長の様子や日光の当り方から、適した栽培方法を選び、選んだ理由を説明する。</li> </ul>

### 3. 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

【国語】特徴と課題
◇【B 設問2一】77.8% (県60.3%、全国57.6%) 県平均比 +17.5% ・目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えることができる。
◇【B 設問3二】81.0% (県60.5%、全国52.3%) 県平均比 +20.5% ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。
◆【B 設問2二】36.5% (県18.9%、全国13.5%) 県平均比 +17.6% ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。
◆【国語B 設問3一】49.2% (県52.9%、全国49.4%) 県平均比 -3.7% ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点

【国語】改善策
・関連する国語科の単元（2年生：「しかけカードの作り方」3年生：「ほうこくする文章を書こう」4年生：「新聞を作る」5年生：新聞を読もう）において、文章を書くために構成メモを書いたり、複数の情報から必要なことを選んで文章に表したりする学習を重視して取り組む。
・「ことばの時間」において、2つ以上の文章を比べて読み、共通点や相違点を見つける学習を重視して取り組む。
【効果測定】12月：自作の類似問題について正答率を+5ポイント 12月：単元末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0% 1月：全学年標準学力調査（75%） 3月：学年末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0%

【算数】特徴と課題
◇【B 設問1(2)】66.7% (県53.7%、全国48.2%) 県平均比 +13.0% ・図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360度になっていることを記述できる。
◇【B 設問4(2)】66.7% (県62.7%、全国59.5%) 県平均比 +4.0% ・示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる。
◆【B 設問3(1)】23.8% (県23.9%、全国20.7%) 県平均比 -0.1% ・メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを言葉や数を用いて説明することに課題がある。
◆【B 設問3(2)】27.0% (県24.7%、全国23.9%) 県平均比 +2.3% ・一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから必要な資料を選ぶことに課題がある。

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点

【算数】改善策
・関連する算数科の単元（3年生：「棒グラフ」4年生：「折れ線グラフ」5年生：「割合」「円グラフ」「帯グラフ」）において、《表題に立ち返り意味を考える》《複数の資料から課題解決に必要な資料を選ぶ》《表・二次元の表、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフなどの中から適切なものを選択して表にまとめる》といった学習に重点的に取り組む。

- ・「総合的な学習の時間」において、調査したことをまとめる際、数を基に表やグラフで表す等、得た情報を効果的にまとめて資料を作成する活動を取り入れる。
- ・社会科の学習において、棒グラフや帯グラフなどの資料を読む活動を取り入れ、複数の情報から必要な情報を取捨選択して考察する学習を重点的に取り組む。

【効果測定】 12月：自作の類似問題について正答率を+5ポイント

12月：単元末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0%

1月：全学年標準学力調査（75%）

3月：学年末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0%

### 【理科】特徴と課題

◇【設問2（1）】96.8%（県85.3%、全国83.6%）県平均比 +11.5

- ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

◇【設問3（4）】55.6%（県45.5%、全国41.9%）県平均比 +10.1

- ・太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。

◆【設問2（3）】23.8%（県22.2%、全国20.1%）県平均比 + 1.6

- ・一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを記述することに課題がある。

◆【設問4（3）】47.6%（県39.9%、全国42.7%）県平均比 + 7.7

- ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを理解し、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することに課題がある。

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

### 【理科】改善策

- ・川の曲がっている外側は流れが速く侵食の働きがよく見られ、内側では流れが遅く堆積の働きがよく見られるという、学習を通して得た知識を基に考えるのではなく、より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察することを重点的に取り組む。
- ・仮説を検証するための比較実験等、解決の方法を考えさせ、結果を基に考察をさせる。考察では、ノートやワークシートに自分の言葉で表現することができるよう取り組む。また、まとめでは、理科用語を用いて表現させることを重点的に取り組む。

【効果測定】 12月：自作の類似問題について正答率を+5ポイント

12月：単元末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0%

1月：3年生～6年生標準学力調査（75%）

3月：学年末テスト80%以上の児童を70%、30%未満の児童を0%

### Ⅲ 学習状況調査の結果

#### 1. 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

##### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- ・家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。（+26.3）
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。（+21.3）
- ・今、住んでいる地域の行事に参加していますか。（+19.9）
- ・理科の授業で、学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。（+17.8）
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。（+17.6）

##### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。（-5.9）
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（-3.7）

#### 2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- ・学年だよりや学校だよりに学校行事等のトピックを書き、家庭での会話の話題にしてもらうよう取り組んでいく。また、児童のがんばりや良かったところ等を、連絡帳等を通して保護者に知らせ、児童が積極的に家庭で話をするよう取り組む。
- ・授業や朝の会、帰りの会でタイムリーな話題に触れ、ニュースに興味を持たせることで、児童自身がテレビやインターネットのニュースを見たり、新聞を読んだりするように取り組む。また、ニュースを日記の内容として取り上げ、事実と考えを区別しながら日記に書くよう取り組む。